

「ひらつか子育て応援プラン取組状況評価（暫定版）」に対する御意見について

「ひらつか子育て応援プラン取組状況評価（令和3年度暫定版）」に対する御意見について、次のとおり担当課から回答がありました。

**（施策番号・事業名） 基本事業（市の取組）2（1）2 ファミリー・サポート事業**

**【御意見】**

市の公式LINEを使うなどPRを強化したとありますが、LINEを導入した後、会員数の増加や認知度はどの程度上がったのかを知りたいです。

**【回答】**

令和3年度第2回のファミリー・サポート・センター支援会員入会説明会及び講習会の広報に、市公式LINEを追加しました。支援会員講習会新規申込者は8人、そのうち6人が全ての講義を受講されました。受講者のアンケートによると、「広報ひらつか」の案内を見て申し込まれたという回答が多かったのですが、口コミ、ネット検索という回答もありました。今後も、「広報ひらつか」による案内に加え、LINE等での案内を継続して実施していきます。

参考：市公式LINE友達登録者数：10,425人（令和4年3月2日時点）

（担当課：保育課）

**（施策番号・事業名） 基本事業（市の取組）2（1）6 放課後児童クラブの充実・推進**

**【御意見】**

放課後児童クラブは、子どもたちにとって安全で安心できる生活の場であり、人間関係を学ぶ所でもあります。支援員に求められることは共に楽しみ、一人一人の子どもの心に寄り添い、子どもの気持ちを理解し、負の情緒に耳を傾けて受容することです。そのために平塚市で開催してくれる支援員研修は、とてもありがたく支援員の大きな学びでもあります。

その一方で、支援員の確保が重要ですが、なかなか難しい状況です。（レベルの問題があるため）

**【回答】**

放課後児童クラブ職員の職務の遂行に必要な資質の向上を図ることを目的に、今後も引き続き、各支援員等の要望を聴きながら研修を実施してまいります。

また、支援員等の求人につきましても、市に協力依頼がある場合には、引き続き市ホームページで募集広告を行なうよう努めてまいりますので、御理解くださるようお願いいたします。

（担当課：青少年課）

(施策番号・事業名) 基本事業(市の取組) 2(1)13 幼保一元化のモデルケース事業

【御意見】

主な取り組み等の欄に「モデルケースとしての知見の蓄積を図った」とありますが、どのような課題が出たのかお聞かせ下さい。今後の幼保連携型が増えていくと思うので知りたいです。

【回答】

港こども園の立ち上げや運営に携わった職員から意見を吸い上げ、認定こども園の課題等の抽出・整理をしました。

主な課題としましては、

- (1) 年間を通して研修や研究会などが保育所と比較して多く、常に誰かが出張しているような状況であり、代替職員や休憩交代などを考慮した職員配置が難しいこと。
- (2) 日々の当番や会議などの多忙さにより、教育・保育内容を改善する時間や話し合う時間、次の日の保育充実のための準備時間などが足りていないこと。
- (3) 7時から19時までの開所時間に対し、1号認定児の教育・保育時間が9時から14時までのため、この教育・保育時間内にクラスの内容を終わらせなければならず、2号認定児よりも1号認定児の定員数が少ない港こども園では、2号認定児側から見ると、遊びが中断されたり午後の時間が使えなかったりといった制約が多い部分があること。
- (4) 1号認定児保護者と2号認定児保護者のそれぞれの価値観や園に求めることに違いがあり、両者の意見を取り入れるのが難しいこと。

などが挙げられます。

こうした課題を踏まえ所管課としましては、職員の拡充により適切な職員配置と、ICT化の推進により業務の一層の効率化を図りたいと考えています。

(担当課：保育課、教育総務課)

(施策番号・事業名) 基本事業(市の取組) 2(3) 1 情報提供の推進

【御意見】

子育てガイドの「くすくす」の発行部数も年々増加するなど、着々の成果が実を結んでいると感じました。更なる情報提供として Twitter 等の活用はいかがでしょうか。

ホームページの作成だと、専門的知識を必要とすることや、管理も難しく、IT 関係に強い職員に頼りがちになると思います。そのような場合、一部の職員に負担がかかってしまうと思います。しかし、Twitter は比較的管理も簡便でそのようなハードルは下がると思います。一部の自治体ではありますが、Twitter で情報発信をはじめているところもあります。

他の都市に先駆けて行い、ますます子育てに優しい街であることをアピールするのはとても良いのではないかと思います。

平塚市の公式 Instagram のフォロワーは現在 7000 人以上、「#hiratsukagood」の投稿は約 8.4 万件もあります。このノウハウを活かせば高い発信力、拡散力でより子育て情報に困っているパパやママのもとに届き、より市民が住みやすい街になるのではないかと思います。

また、私自身 1 歳児を育てながら、子育て情報は Twitter から得ているものも少なくありません。その理由の一つとして、なかなかゆっくりとネットで情報収集するのも意外と大変ですが、Twitter は 140 文字以内の投稿であるため、パッと見ただけで情報が入り、ユーザー目線で情報の取捨選択は比較的容易だからです。

【回答】

子育て情報を市公式 LINE で発信していますが、広報ひらつかに掲載した子育てに関する情報を市公式 Twitter、Facebook でも適宜発信しています。今後もより広く情報を提供できるよう努めます。

(担当課：保育課)

子育て支援講座開催の案内を子育て応援メールの発信及び市ホームページへの掲載だけでなく、令和 3 年度から LINE での周知を行いました。今後は、御意見にあります Twitter 等の SNS の活用を検討し、より広く周知できるよう努めます。

(担当課：こども家庭課)

(施策番号・事業名) 基本事業(市の取組) 5(1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策  
教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策  
(8) 利用者支援事業

【御意見(1)】

「ひらつかネウボラルームはぐくみ」は、専門職の職員との面談が無料で行えて利用しやすいと感じます。本件と主旨はずれてしまうかも知れませんが、今後の取り組みとして、産後の開業助産師による乳房マッサージやパパ向けの訪問型の育児指導(おむつ交換、沐浴、ミルクの調乳、ゲップのやり方、抱っこの仕方等)について市の方でも助成されると大変助かります。

特に2020年以降、我が家と同じようにコロナの影響で両親学級はほぼ受けられず、里帰りもできず、立ち合いも、面会も出来なかったため、父性を養う機会もほぼないまま、パパは退院時に初めて子どもを抱っこするため、私の夫のように「抱っこなんて怖くて無理」と言うパパが続出したそうです。幸い我が家の場合、産院の助産師さんからそうした情報を聞いていたため、私は冷静に夫の言動を受け止めつつ、助産師さんの提案でパパ向けの訪問育児指導を退院後すぐに依頼したお陰で、夫は一通りのお世話はできるようになっただけでなく、プロである助産師に不安な気持ちを受け止めてくれて、アドバイスいただけたことがとても役に立ったと話しております。

また、「はぐくみ」の助産師さん等がそういったことを行うことができるのであれば、もっとアピールして欲しいです。はぐくみのスタッフだけで賄えないのであれば、開業助産師の案内をする等、代替案の提案とかすると良いと思います。

【回答(1)】

体験に基づく貴重なご意見をありがとうございました。本市では、出産前のカップルを対象に、「ネウボラルームはぐくみ」にて育児方法(おむつ交換、沐浴、着替え方、抱っこの仕方等)を指導する「ハローベビー育児体験」を無償で実施しています。(予約制)また、産後の場合は「赤ちゃん訪問」で対応しておりますので、お気軽に保健センターにお問い合わせください。これらの事業につきましては、母子健康手帳交付時に説明し、市ホームページにも掲載しています。なお、乳房マッサージは産科もしくは開業助産師にご相談ください。

(担当課：健康課)

### 【御意見（2）】

子育て世代包括支援センターが、平塚市に開設できたことは素晴らしい事と思っています。平塚市保健センター内に開設されているようですが、交通の利便性を考えると、平塚市役所内にもう1か所開設できたら一つ一つの機能の向上に繋がるのではないかと思います。2か所を順番に開設して人件費もおさえての方法なら可能になるかもしれないと考えました。

### 【回答（2）】

子育て世代包括支援センター「ネウボラルームはぐくみ」のある保健センターには、母子保健に従事する専門職が常駐し、常にプライバシーを守りながら様々な相談に対応できる体制となっています。また、妊婦やそのパートナーを対象とする母親・父親教室、産後デイサービス「ママはぐ」、幼児健診、子育て教室など、妊娠期から乳幼児対象の事業のほとんどが保健センターで実施しています。

また、保健センターは市の中央部に位置し、無料の駐車場が完備され、バスの本数も多く、利便性も良好です。

妊娠期から子育て期の切れ目のない子育て支援の拠点として、引き続き保健センター1か所で実施していきたいと考えます。

（担当課：健康課）

### （施策番号・事業名）基本事業（市の取組）全体について

#### 【御意見】

各事業の評価、評価基準や検証方法について、別に記載されているものがありますでしょうか。

P D C Aで事業を展開するために、記載されているとよいと思います。

#### 【回答】

計画の進行管理について、各事業（第4章部分）における具体的指標値は、総合計画を始めとする各計画の指標値等を踏まえ、毎年事業を評価し、課題を挙げた上で翌年度以降の事業実施につなげていくものとしています。御意見につきましては、次期計画策定の参考とさせていただきます。

（担当課：保育課）

(施策番号・事業名) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

(1) 時間外保育事業(延長保育事業)

【御意見】

親の働き方が時代の変化と共に変わっていくので、必要に応じた対応が重要だと思います。特に今はコロナ禍なので状況をふまえた臨機応変な対応が求められると思います。

【回答】

御指摘のとおり、IT産業の躍進やコロナ禍における在宅ワークの促進など、保護者の働き方が多種多様化していることは把握しています。

保育業務は、保育士と園児とのかかわりの中で「アタッチメント(愛着)」が大変重要であることから、その多様なニーズに応えるためには、人員の確保と配置がポイントとなると考えています。

今後も引き続き、保育所等と行政とが連携して、デジタル化等を推進することで保育士の業務負担を軽減し、保育士と園児がかかわる時間を増やすとともに、人材の確保に努め、保育ニーズに応じてまいります。

(担当課: 保育課)

(施策番号・事業名) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

(5) 保育所等における一時預かり事業

【御意見】

本事業の次年度以降の方針「今後も新型コロナウイルス感染症対策に注視し、安心安全なサービスの提供を継続的にできるよう、実施施設と連携していきます。」に同感です。

御意見を承ります。

(担当課: 保育課)

(施策番号・事業名) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

(6) 病児・病後児保育事業

【御意見】

市内での病児保育施設の運営一年目として、季節の流行性感染症により利用者の増減があったり、また当日のキャンセルが多かったり、先を見込んだ計画を立てるのが厳しい状況にありました。令和4年2月からインターネットの利用が可能になったので、より利用しやすくなることを願い充実した支援に繋がられるようにしていきたいと考えます。利用者の人数により補助金の見直しをして頂けると人件費の確保ができ、安定した事業が計画的に行えると考えます。

【回答】

令和3年4月から本市初となる病児保育を実施する施設が開設しました。利用者からは、「同じ建物の中に小児科診療所があり、子どもを預けるのに安心」という声や、「市内に病気の子どもを預けることができる施設が新設され、子どもが体調不良の際に仕事を休まないといけないという心理的な負担が軽減されてうれしい」との声をいただいています。しかし、本事業は季節や感染症の流行等により利用者数の波があるため、施設の経営は非常に難しい面があると認識していますので、市内実施施設の運営状況と国の補助基準の見直しの動きを注視していきたいと考えています。

なお、市内2か所の病児・病後児保育事業実施施設について、より利用しやすい環境をつくるため、令和4年2月から事前登録や空き状況の確認、利用の予約・キャンセルがインターネットを使ってできるようになりました。このICT化による利便性向上により、利用者の増加を推進します。

(担当課：保育課)

(施策番号・事業名) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

(13) 子育て短期支援事業

【御意見】

「平成30年度に実施したアンケート調査によるニーズ量はありませんでしたが、事業について研究します」とありますが、その後はどうなったのかを知りたいです。新型コロナの影響も受けてニーズの変化もあったと思います。

【回答】

本事業の受け入れ先について、令和3年度からは、里親を活用することができるようになりましたが、児童相談所に話を聞いたところ、本来の里親業務があるため対応は難しいのではないかとのことでした。保護者の疾病等により、家庭において子どもを養育・保育することが困難な場合は、児童相談所と綿密に連携し対応してまいります。

(担当課：保育課、こども家庭課)

(施策番号・事業名) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策  
(14) 多様な主体の参入を促進する事業

【御意見】

「本市では、未実施です」と現年度における実績に記載されていますが、未実施になった理由を伺いたいです。

【回答】

本事業は多様な事業者の能力を生かしながら、保育所等の整備を推進するものです。

保育の受け皿整備は、「ひらつか子育て応援プラン」や「新子育て安心プラン」に基づき、地域の実情を見極めながら計画的に進める必要があります。現状では、市の計画に基づき、事業実績のある法人や事業者が整備を行っているため、本事業の実施には至っていません。

(担当課：保育課)

以 上